

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	無期限（2006年12月20日設定）
運用方針	世界主要国の政府や政府機関等が発行する短期債券中心に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。信用格付がA格相当以上の国の中から、債券市場の規模、投資に係る規制等を勘案して投資候補となる国を決定します。投資にあたっては、利回り水準の高い国を複数選定し、当該国通貨建ての債券に投資することを基本とします。投資配分については、市場流動性や利回り水準等を勘案して決定します。投資候補国および投資国の見直しは、委託会社が必要と認めた場合に行います。為替変動リスクを軽減させるため、為替ヘッジ取引等を活用する場合があります。
主要運用対象	わが国を含む世界主要国の公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

世界好利回り短期債券 ファンド（毎月決算型）

愛称：キュート



第158期（決算日：2020年5月12日）
 第159期（決算日：2020年6月12日）
 第160期（決算日：2020年7月13日）
 第161期（決算日：2020年8月12日）
 第162期（決算日：2020年9月14日）
 第163期（決算日：2020年10月12日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「世界好利回り短期債券ファンド（毎月決算型）」は、去る10月12日に第163期の決算を行いましたので、法令に基づいて第158期～第163期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額	
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落				中 率
	円		円		%	%	百万円	
134期(2018年5月14日)	5,252		20		△1.4	96.7	—	3,434
135期(2018年6月12日)	5,292		10		1.0	97.3	—	3,441
136期(2018年7月12日)	5,253		10		△0.5	97.1	—	3,332
137期(2018年8月13日)	5,123		10		△2.3	97.7	—	3,200
138期(2018年9月12日)	5,108		10		△0.1	97.5	—	3,154
139期(2018年10月12日)	5,131		10		0.6	97.2	—	3,109
140期(2018年11月12日)	5,227		10		2.1	96.9	—	3,132
141期(2018年12月12日)	5,237		10		0.4	97.6	—	3,091
142期(2019年1月15日)	5,033		10		△3.7	97.1	—	2,934
143期(2019年2月12日)	5,133		10		2.2	98.0	—	2,968
144期(2019年3月12日)	5,170		10		0.9	95.4	—	2,915
145期(2019年4月12日)	5,174		10		0.3	96.8	—	2,887
146期(2019年5月13日)	5,052		10		△2.2	95.4	—	2,768
147期(2019年6月12日)	5,018		10		△0.5	95.6	—	2,734
148期(2019年7月12日)	5,047		10		0.8	97.3	—	2,700
149期(2019年8月13日)	4,842		10		△3.9	97.5	—	2,566
150期(2019年9月12日)	4,957		10		2.6	95.4	—	2,601
151期(2019年10月15日)	4,979		10		0.6	97.5	—	2,588
152期(2019年11月12日)	5,036		10		1.3	97.9	—	2,575
153期(2019年12月12日)	5,009		5		△0.4	97.8	—	2,542
154期(2020年1月14日)	5,136		5		2.6	97.3	—	2,537
155期(2020年2月12日)	5,048		5		△1.6	97.5	—	2,429
156期(2020年3月12日)	4,793		5		△5.0	97.8	—	2,271
157期(2020年4月13日)	4,884		5		2.0	97.4	—	2,292
158期(2020年5月12日)	4,837		5		△0.9	97.6	—	2,263
159期(2020年6月12日)	4,888		5		1.2	97.1	—	2,254
160期(2020年7月13日)	4,918		5		0.7	96.8	—	2,255
161期(2020年8月12日)	5,025		5		2.3	82.7	—	2,291
162期(2020年9月14日)	5,032		5		0.2	97.4	—	2,263
163期(2020年10月12日)	5,011		5		△0.3	97.6	—	2,249

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			騰 落	率			
第158期	(期 首) 2020年4月13日	円 4,884		% —	% 97.4		% —
	4月末	4,830		△1.1	97.5		—
	(期 末) 2020年5月12日	4,842		△0.9	97.6		—
第159期	(期 首) 2020年5月12日	4,837		—	97.6		—
	5月末	4,882		0.9	96.2		—
	(期 末) 2020年6月12日	4,893		1.2	97.1		—
第160期	(期 首) 2020年6月12日	4,888		—	97.1		—
	6月末	4,937		1.0	97.4		—
	(期 末) 2020年7月13日	4,923		0.7	96.8		—
第161期	(期 首) 2020年7月13日	4,918		—	96.8		—
	7月末	4,931		0.3	97.0		—
	(期 末) 2020年8月12日	5,030		2.3	82.7		—
第162期	(期 首) 2020年8月12日	5,025		—	82.7		—
	8月末	5,037		0.2	97.6		—
	(期 末) 2020年9月14日	5,037		0.2	97.4		—
第163期	(期 首) 2020年9月14日	5,032		—	97.4		—
	9月末	4,958		△1.5	97.4		—
	(期 末) 2020年10月12日	5,016		△0.3	97.6		—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第158期～第163期：2020年4月14日～2020年10月12日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第158期首	4,884円
第163期末	5,011円
既払分配金	30円
騰落率	3.2%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ3.2%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

債券の利子収益を享受したことや米ドルを除く投資通貨が対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

米ドル組入れ期間（当作成期首から2020年7月初まで）において、米ドルが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

第158期～第163期：2020年4月14日～2020年10月12日

投資環境について

▶ 債券市況

マレーシア、ポーランド、シンガポール、カナダ、米国の短期金利は低下しました。マレーシア、ポーランド、シンガポール、カナダ、米国の短期金利は、新型コロナウイルスの感染拡大による経済への影響を緩和するため、各国が相次いで金融緩和政策を推進したことなどから低下しました。特に米国や欧州では中央銀行による社債購入も含めた大規模な資産購入プログラムが実施され、マレーシアとポーランドでは政策金利の引き下げが実施されました。また、米中関係の悪化や米国の追加経済対策協議の難航、英国の欧州連合（EU）離脱交渉の決裂懸念などを背景に、経済の先行き不透明感が強まっ

たことも短期金利の低下要因となりました。

▶ 為替市況

マレーシアリングgit、ポーランドズロチ、シンガポールドル、カナダドルは対円で上昇、米ドルは対円で下落しました。世界的に株式市場が堅調に推移したことやワクチン開発への期待が高まったことにより投資家のリスクセンチメントが改善したことなどから、米ドルは対円で下落した一方、それ以外の投資通貨（マレーシアリングgit、ポーランドズロチ、シンガポールドル、カナダドル）は対円で上昇しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

組入比率

信用力が高く、相対的に利回りが高い4～5カ国（利回り面で有利であると判断した場合には4カ国へ投資、投資通貨数を絞り込む効果が限定的と判断した場合には為替リスク分散のため5カ国へ投資）に一定の比率で投資する商品性に基づき、当作成期においては、

作成期首から2020年7月初まではマレーシア30%、米国25%、シンガポール20%、カナダ15%、ポーランド10%、その後作成期末まではマレーシア35%、ポーランド30%、シンガポール20%、カナダ15%を組み入れて運用を行いました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第158期 2020年4月14日～ 2020年5月12日	第159期 2020年5月13日～ 2020年6月12日	第160期 2020年6月13日～ 2020年7月13日	第161期 2020年7月14日～ 2020年8月12日	第162期 2020年8月13日～ 2020年9月14日	第163期 2020年9月15日～ 2020年10月12日
当期分配金 （対基準価額比率）	5 (0.103%)	5 (0.102%)	5 (0.102%)	5 (0.099%)	5 (0.099%)	5 (0.100%)
当期の収益	5	5	5	5	5	5
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	131	136	141	146	149	150

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

利回り水準、格付、流動性などの観点から、当面、マレーシア、ポーランド、シンガポ

ル、カナダを中心とした運用を行います、必要に応じ入れ替えも検討して参ります。

2020年4月14日～2020年10月12日

1万口当たりの費用明細

項目	第158期～第163期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	26	0.521	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(11)	(0.227)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(14)	(0.274)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.020)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.049	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.047)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	28	0.570	

作成期中の平均基準価額は、4,944円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

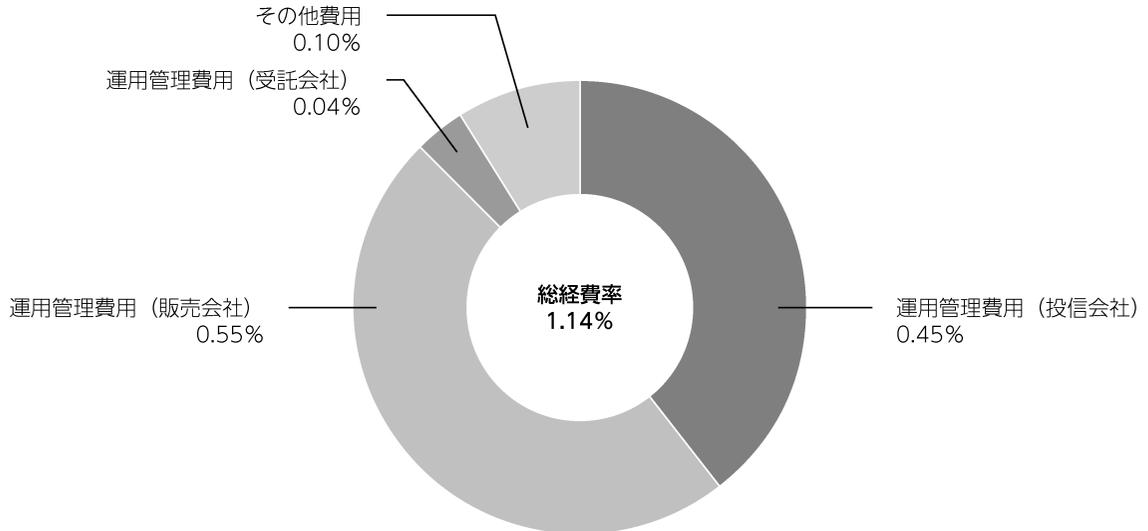
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.14%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年4月14日～2020年10月12日)

公社債

			第158期～第163期	
			買付額	売付額
外 国	アメリカ	国債証券	千アメリカドル —	千アメリカドル 5,148
	カナダ	国債証券	千カナダドル 1,471	千カナダドル 1,832
	ポーランド	国債証券	千ポーランドズロチ 15,598	千ポーランドズロチ —
	シンガポール	国債証券	千シンガポールドル 2,547	千シンガポールドル 2,949
	マレーシア	国債証券	千マレーシアリングgit 17,966	千マレーシアリングgit 14,043

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2020年4月14日～2020年10月12日)

利害関係人との取引状況

区 分	第158期～第163期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 529	百万円 —	% —	百万円 638	百万円 19	% 3.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2020年10月12日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第163期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
カナダ	千カナダドル 3,900	千カナダドル 4,015	千円 323,016	% 14.4	% —	% —	% 5.3	% 9.1
ポーランド	千ポーランドズロチ 22,500	千ポーランドズロチ 23,365	652,125	29.0	—	—	—	29.0
シンガポール	千シンガポールドル 5,300	千シンガポールドル 5,526	430,975	19.2	—	—	—	19.2
マレーシア	千マレーシアリンギット 29,900	千マレーシアリンギット 30,899	788,858	35.1	—	—	19.3	15.7
合 計	—	—	2,194,975	97.6	—	—	24.6	73.0

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	第163期末						償還年月日
	利 率	額面金額	評 価 額		債		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
カナダ	%	千カナダドル	千カナダドル	千円			
国債証券	1.5 CAN GOVT 220201	1.5	2,500	2,544	204,685	2022/2/1	
	2 CAN GOVT 230901	2.0	1,400	1,471	118,331	2023/9/1	
小 計					323,016		
ポーランド		千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ				
国債証券	1.75 POLAND 210725	1.75	500	507	14,154	2021/7/25	
	2.25 POLAND 220425	2.25	18,500	19,148	534,432	2022/4/25	
	5.75 POLAND 211025	5.75	3,500	3,709	103,538	2021/10/25	
小 計					652,125		
シンガポール		千シンガポールドル	千シンガポールドル				
国債証券	1.25 SINGAPORGVOT 211001	1.25	1,400	1,413	110,239	2021/10/1	
	3.125SINGAPORGVOT 220901	3.125	3,900	4,113	320,736	2022/9/1	
小 計					430,975		
マレーシア		千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット				
国債証券	3.48 MALAYSIAGOVOT 230315	3.48	16,400	17,025	434,648	2023/3/15	
	3.62 MALAYSIAGOVOT 211130	3.62	5,000	5,116	130,628	2021/11/30	
	3.882 MALAYSIAGOV 220310	3.882	8,500	8,757	223,580	2022/3/10	
小 計					788,858		
合 計					2,194,975		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

（2020年10月12日現在）

項 目	第163期末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 2,194,975	% 97.4
コール・ローン等、その他	58,812	2.6
投資信託財産総額	2,253,787	100.0

（注）作成期末における外貨建純資産（2,234,468千円）の投資信託財産総額（2,253,787千円）に対する比率は99.1%です。

（注）外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 カナダドル=80.44円	1 ポーランドズロチ=27.91円	1 シンガポールドル=77.98円	1 マレーシアリングット=25.53円
----------------	-------------------	-------------------	---------------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第158期末	第159期末	第160期末	第161期末	第162期末	第163期末
	2020年5月12日現在	2020年6月12日現在	2020年7月13日現在	2020年8月12日現在	2020年9月14日現在	2020年10月12日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	2,268,335,779	2,269,985,878	2,260,217,163	2,296,331,251	2,397,551,780	2,253,787,237
コール・ローン等	37,062,129	68,345,405	59,376,520	45,036,465	27,005,434	43,205,817
公社債(評価額)	2,209,190,000	2,189,353,395	2,182,893,532	1,895,054,098	2,204,782,442	2,194,975,876
未収入金	—	—	—	335,520,280	146,457,060	—
未収利息	19,749,924	11,768,370	12,493,367	14,971,762	10,782,098	12,619,414
前払費用	—	165,680	4,921,568	5,039,867	7,669,288	1,939,026
その他未収収益	2,333,726	353,028	532,176	708,779	855,458	1,047,104
(B) 負債	4,467,265	15,318,347	4,801,165	5,209,417	134,386,207	4,722,963
未払金	—	—	—	—	118,465,855	—
未払収益分配金	2,340,399	2,306,095	2,292,986	2,279,552	2,248,671	2,244,208
未払解約金	234,578	10,973,733	492,000	970,454	11,498,108	678,798
未払信託報酬	1,883,953	2,029,520	2,007,296	1,950,780	2,163,947	1,792,041
未払利息	17	37	19	16	69	5
その他未払費用	8,318	8,962	8,864	8,615	9,557	7,911
(C) 純資産総額(A-B)	2,263,868,514	2,254,667,531	2,255,415,998	2,291,121,834	2,263,165,573	2,249,064,274
元本	4,680,798,861	4,612,191,836	4,585,972,762	4,559,105,428	4,497,343,704	4,488,417,782
次期繰越損益金	△2,416,930,347	△2,357,524,305	△2,330,556,764	△2,267,983,594	△2,234,178,131	△2,239,353,508
(D) 受益権総口数	4,680,798,861口	4,612,191,836口	4,585,972,762口	4,559,105,428口	4,497,343,704口	4,488,417,782口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,837円	4,888円	4,918円	5,025円	5,032円	5,011円

○損益の状況

項 目	第158期	第159期	第160期	第161期	第162期	第163期
	2020年4月14日～ 2020年5月12日	2020年5月13日～ 2020年6月12日	2020年6月13日～ 2020年7月13日	2020年7月14日～ 2020年8月12日	2020年8月13日～ 2020年9月14日	2020年9月15日～ 2020年10月12日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	4,686,795	5,031,461	5,071,427	4,944,493	5,079,338	4,641,464
受取利息	4,494,463	4,911,043	4,905,688	4,782,338	4,967,855	4,454,736
その他収益金	193,275	121,834	166,796	162,774	112,152	187,076
支払利息	△ 943	△ 1,416	△ 1,057	△ 619	△ 669	△ 348
(B) 有価証券売買損益	△ 22,628,559	23,429,559	12,944,741	48,352,465	2,572,887	△ 9,832,277
売買益	4,728,245	29,674,722	17,170,351	51,446,373	8,565,856	1,963,508
売買損	△ 27,356,804	△ 6,245,163	△ 4,225,610	△ 3,093,908	△ 5,992,969	△ 11,795,785
(C) 信託報酬等	△ 2,026,269	△ 2,177,887	△ 2,160,443	△ 2,100,520	△ 2,322,966	△ 2,159,627
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 19,968,033	26,283,133	15,855,725	51,196,438	5,329,259	△ 7,350,440
(E) 前期繰越損益金	△1,594,150,551	△1,592,112,221	△1,558,604,379	△1,535,383,307	△1,465,481,651	△1,458,491,571
(F) 追加信託差損益金	△ 800,471,364	△ 789,389,122	△ 785,515,124	△ 781,517,173	△ 771,777,068	△ 771,267,289
(配当等相当額)	(37,414,006)	(36,875,772)	(36,676,767)	(36,473,267)	(35,996,936)	(35,947,853)
(売買損益相当額)	(△ 837,885,370)	(△ 826,264,894)	(△ 822,191,891)	(△ 817,990,440)	(△ 807,774,004)	(△ 807,215,142)
(G) 計(D+E+F)	△2,414,589,948	△2,355,218,210	△2,328,263,778	△2,265,704,042	△2,231,929,460	△2,237,109,300
(H) 収益分配金	△ 2,340,399	△ 2,306,095	△ 2,292,986	△ 2,279,552	△ 2,248,671	△ 2,244,208
次期繰越損益金(G+H)	△2,416,930,347	△2,357,524,305	△2,330,556,764	△2,267,983,594	△2,234,178,131	△2,239,353,508
追加信託差損益金	△ 800,471,364	△ 789,389,122	△ 785,515,124	△ 781,517,173	△ 771,777,068	△ 771,267,289
(配当等相当額)	(37,414,006)	(36,875,772)	(36,676,767)	(36,473,267)	(35,996,936)	(35,947,853)
(売買損益相当額)	(△ 837,885,370)	(△ 826,264,894)	(△ 822,191,891)	(△ 817,990,440)	(△ 807,774,004)	(△ 807,215,142)
分配準備積立金	24,098,841	26,076,189	28,087,980	30,382,410	31,242,178	31,396,286
繰越損益金	△1,640,557,824	△1,594,211,372	△1,573,129,620	△1,516,848,831	△1,493,643,241	△1,499,482,505

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

①作成期首（前作成期末）元本額 4,693,059,389円

 作成期中追加設定元本額 13,142,969円

 作成期中一部解約元本額 217,784,576円

 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.5011円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,239,353,508円です。

③分配金の計算過程

項 目	2020年4月14日～ 2020年5月12日	2020年5月13日～ 2020年6月12日	2020年6月13日～ 2020年7月13日	2020年7月14日～ 2020年8月12日	2020年8月13日～ 2020年9月14日	2020年9月15日～ 2020年10月12日
費用控除後の配当等収益額	2,660,526円	4,646,411円	4,463,262円	4,749,565円	3,537,353円	2,481,837円
費用控除後・繰越大損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	37,414,006円	36,875,772円	36,676,767円	36,473,267円	35,996,936円	35,947,853円
分配準備積立金額	23,778,714円	23,735,873円	25,917,704円	27,912,397円	29,953,496円	31,158,657円
当ファンドの分配対象収益額	63,853,246円	65,258,056円	67,057,733円	69,135,229円	69,487,785円	69,588,347円
1万口当たり収益分配対象額	136円	141円	146円	151円	154円	155円
1万口当たり分配金額	5円	5円	5円	5円	5円	5円
収益分配金金額	2,340,399円	2,306,095円	2,292,986円	2,279,552円	2,248,671円	2,244,208円

○分配金のお知らせ

	第158期	第159期	第160期	第161期	第162期	第163期
1万口当たり分配金（税込み）	5円	5円	5円	5円	5円	5円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。